# 自主的・協働的に学ぶ

## 第８回授業研究会

12 月 12 日（火）今年度８回目の授業研究会を行いました。
お招きした講師の先生は、
北部学校教育事務所ハマアップ　授業改善支援員　永池　　啓子　先生
横浜市立三保小学校　校長　　鈴木　　康史　先生
横浜国立大学　教育学部　講師　　山﨑　　信也　先生　　です。
「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子どもの育成　～一人ひとりが『自覚的な学び』を繰り返す学びのデザイン～」をテーマに授業研究会を行い、授業力を向上させていきます。

## ３年３組

**単元名　「お気に入りの民話や昔話のおもしろさを　民話マップを使って学校のみんなにしょうかいしよう」**
**教材名　「三年とうげ」**

「世界の様々な民話の面白さを学校のみんなに紹介する」というゴールに向かって、自分が選んだ民話で見付けた面白さについて、理由を明らかにしてグループで伝え合いました。一人ひとりが見付けた面白さの理由を知ることで、民話には、読み手を楽しませる展開や独特な語り口や言い回しがあることに気付いていました。また、複数の民話を読むことによって、登場人物、風景など、その国や地域ならではの地域性に気付く姿も見られました。

## 個別支援級（低学年）

単元名　「たくさん動いてどんどんチャレンジ！　チームで大きな星を作ろう」
教材名　「多様な動きをつくる運動遊び」

１年生が２，３年生とバディを組んで５種類の運動遊びに取り組みました。ゴールするごとにシールを集め、大きな星を作りました。自分の挑戦したい運動遊びを選んだり、道具やルールを工夫したりして、一人ひとりが課題をもって活動できました。
体を動かすことを楽しみ、バディで応援し合う姿が見られました。

## ６年４組

単元名　「私たちはどう生きるか
　　登場人物の生き方について友達と語り合い、自分の考えを広げたり深めたりしよう」
教材名　「海の命」

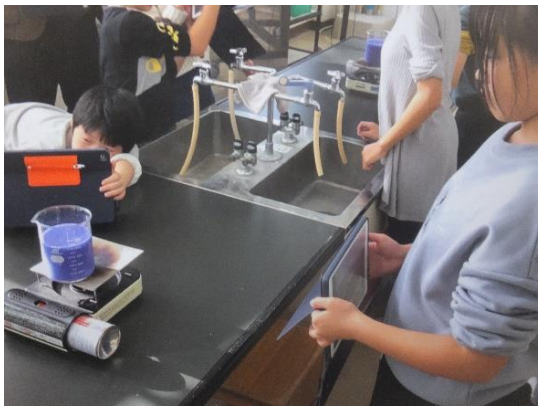
物語の叙述をもとに登場人物の成長や人物像を捉えたり、友達との話合いを通して物語の主題や登場人物の生き方について考えを広げたりしました。

登場人物の関係図を作ることで、登場人物や互いの関係性について理解が深まり、「太一は父親だけでなく与吉じいさの生き方にも影響を受けている。」「母親の心配な気持ちもわかっている。」など、主人公の成長の様子や生き方について総合的に捉える姿が見られました。

## ４年３組

単元名　「ものの温まり方　～金属・水・空気のなぞを解き明かそう～」
教材名　「ものの温まり方」

水がどのように温まっていくのかを示温インクを用いてグループ実験しました。実験の様子をアイパッドで撮影しながら示温インクの色が変わる様子から「火の近くから温まっていって全体が温まる。」「上の方から色が変わっていったから金属とは温度の変わり方がすこし違う。」など実験の様子を観察して、自分の考えをもつ姿が多く見られました。



## ２年３組

単元名　「とびばこにんじゃ道場でトン！パン！ピタッ！～みんなでまえむきにジャンプだぜ！～」
教材名　「跳び箱を使った運動遊び」

学習してきた跳び箱の遊び方をもとに、自分が楽しいと思う遊び方を考え、繰り返し挑戦したり、友達と紹介し合ったりしました。もっと楽しく、かっこよくするにはどうしたらよいか、また、跳び越せるようになるにはどんな練習が必要かを考えたりしながら活動しました。

安全に気を付けながら声を掛けたり、一緒に遊びを楽しんだりする姿が見られました。